

会 議 録

会 議 の 名 称	新座市公共施設再配置計画策定に向けた市民説明会
開 催 日 時	午後3時から 令和8年4月24日(金) 午後4時40分まで
開 催 場 所	西堀・新堀コミュニティセンター1階 集会室兼体育室
事 務 局 職 員	<p>総合政策部長 伊藤 総合政策部副部長 浅島 総合政策部参事兼公共施設マネジメント課長 加藤 公共施設マネジメント課副課長 柴沼 公共施設マネジメント課公共施設マネジメント係長 増田 公共施設マネジメント課主査 照井 公共施設マネジメント課主任 田島 教育総務部長 齋藤 教育総務部副部長兼教育総務課長 森山 教育総務課小・中学校適正配置等推進室長 五十嵐 教育総務課小・中学校適正配置等推進室専門員 狩野 学校教育部長 丹代 学校教育部副部長兼教育支援課長 山崎</p>
説 明 会 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 総合政策部長挨拶 3 計画素案についての説明 4 質疑応答 5 閉会
説 明 会 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 資料1 3 資料2 4 資料3 5 アンケート調査票
参 加 人 数	21人

説明会の内容

- 1 開会
午後3時開会
- 2 総合政策部長挨拶
- 3 計画素案についての説明
 - ア 公共施設マネジメント課職員説明
配布した資料1・2に基づき、公共施設マネジメント課から説明した。
 - イ 教育総務課職員説明
配布した資料3に基づき、教育総務課から説明した。
- 4 質疑応答（・は市民の発言(カッコ内は居住地)、→は職員の発言を示す。）

→(司会) 次第4の質疑応答に移る。本日はできるだけ多くの皆様からご意見ご質問を賜りたいと考えている。たくさんいらっしゃれば一人一問ずつとしたいが現時点で質問がある方は挙手をお願いしたい。

・(新堀) 2点質問がある。
昭和に建てられた施設がほとんどで、エレベーターが設置されていないなど、車椅子の方の使用が難しいなど不便なところがたくさんある。改修や更新をする場合、こうした施設についてもバリアフリー化を進めていくのか。
2点目は、今のお話の中で公共施設を防災の拠点としてどのように考えているのかという話がありませんでしたので何かあればお願いしたい。

→ バリアフリー化や省エネの問題などについては、更新の際に、あるいは説明の中で触れたが、施設を長持ちさせるための長寿命化対応改修を行う際に、取り組んでいくことが前提である。この西堀・新堀コミュニティセンターもエレベーターが設置されていない施設で、近いうちに改修することを素案で位置付けているが、改修計画を実行に移す際にはバリアフリー化や省エネなどへの対応も図っていきたいと考えている。
また、防災の拠点としての考えは、視点としては明確にされていないが、市では公民館・コミュニティセンター、学校、市民総合体育館等を防災拠点、避難場所に指定している。将来的に施設が存続するような考え方であれば、防災機能についても継続が前提である。学校についてはこれからの議論次第であるが、学校自体がある程度統合されたときに、学校としての機能がなくなった施設については、説明の中でも若干触れたように、財源的な面を踏まえて一部処分といったこともないわけではないが、まずは公共施設としての必要性を考えていく。その上で、今後も何らかの施設を残していく必要はないとなった場合でも、例えば防災の拠点等が必要であれば、その跡地の利用を検討する中で考えていくことになる。

・(新堀三丁目) 新堀三丁目集会所を活動の拠点としているが、この集会所を6年後から10年後の間に廃止するという重大な方針が示されたこと

から、将来の大きな問題と考えている。本日はこのような観点から質問をする。

一つ目として、市は令和6年から公共施設再配置の検討を開始しているが、このことに対する市民へのお知らせが不十分だと強く感じている。私が市の動きを知ったのは、令和7年度の審議会の検討が進行した後の今年の2月である。市は検討内容をホームページで公表しているとの主張があるとも思うが、市民にとって一番身近な集会所の存廃を検討することは、もっと積極的に知らせるべき、そして民主的な検討体制を見せるべきだと感じている。

そこで具体的な質問だが、審議会の委員の候補に対して何名の応募があったのか。審議会の傍聴者が少なかったと承知しているが、傍聴のお知らせはどのように行ったのかをお伺いしたい。

また、再配置方針の中には判断理由が記されている。具体的な例は、新堀三丁目集会所を想定しているが、今後20年間で耐用年数に達しないものは現状維持として、耐用年数に達するもので利用者数が平均以下の施設を廃止するという大胆な判断になっている。利用者数以外の集会所の利用内容や、集会所の廃止になった場合の影響なども重要な存廃判断要素になると思うが、そういうことは素案には記述が見られない。このような内容は判断材料になっていなかったと考えてよろしいか。

それからもう一つ、地域活動の拠点として集会所を存続してほしいという思いがある。どうしても廃止の判断をせざるを得ない場合は受け入れていきたいと考えているが、その場合には地域に当然大きな影響があるので廃止という文言で終わるのではなく、廃止された後の対策についても別に項目立てをして記述すべきである。再配置計画なのでその後どうするのか、計画の中に組み入れて内容として明らかにするべきだが、その辺りの考え方を伺いたい。

→ 検討に当たってのPRの不足という部分についてのご指摘かと思う。これは我々としても反省すべき点と考えている。

計画の検討そのものは、令和6年度から2か年の予定で、すでに3年目に入ったが、基礎資料等の調査から進めてきた。検討に当たって市内での検討のほか、公募の市民も含めた審議会を立ち上げ、議論いただいている。1年半程度前から本格的に中身の審議を進めている。

公募市民は3名在籍している。公募をした際、応募された方は7名だった。そのうちの3名を審議会委員に選任している。

傍聴等に関しては、審議会の開催に合わせて、これもホームページ等での広報、周知になってしまう。広報紙等で周知をし、皆さんの目に届くようにやるべきと思っているが、紙面の都合で全体に行き届かないところはご容赦いただきたい。

施設そのものに関してのご指摘をいただいた。今回ご説明した内容に関して、この案をもってこれから市で計画決定を進めていこうという段階ではない。ひとまずは新座市が置かれている状況、財政状況や施設の古さ、利用状況などを、定量的な考え方でまとめ、これからの施設の配置をどうしていくべきか、ご提案した。

新堀三丁目集会所に関しては先程ご説明したとおり、中期で廃止という方針となっている。現在の位置から考えれば遠くなってしまうのはやむを得ない部分かと思うが、周辺の施設である新堀二丁目のふれあいの家等

で、現在の利用状況を踏まえると十分カバーできるのではないかといった提案内容となっている。

併せて、町内会活動と集会所との関係性というのは、こちらとしても地域の様々な活動にご支援いただいていることは、非常に感謝している。ここまで4回の説明会を開催したが、集会所については、町内会の方々からご指摘をいただき、その必要性も非常に強く感じている。最終案に向けては提起されたご意見等を踏まえながら議論をし、まとめていきたい。

- ・(新堀一丁目) 先程の意見と重複するが、私は新堀一丁目在住だが新堀三丁目のお祭り等に参加している。新堀三丁目のお祭りは、町内会の行事としては大成功と言えるもので、参考にしている。利用人数が少ないから集会所は廃止対象になっている部分もあると思うが、利用人数では測れない、数字には出てこないものがあるので、その辺りを考慮の上、再検討してほしい。利用人数というのは申込時に記した人数だと思われるが、実際お祭りに来ているのは何百人と来ている。利用人数では測り知れない数字があるので、それを考慮して今後検討していただければと思う。

西堀小学校は新座市で三番目に古い小学校だが、廃校になってしまうのはとても残念である。廃校になった後の施設利用も踏まえた上で卒業生たちが西堀小学校を感じられるような使い方を検討していただきたい。

- ・ 人口減少という局面は、日本の課題であると思うが、新座市では、先程の小学校の児童数のグラフを見ると増加している部分もあった。流山市など、全国的な人口減少局面においても局所的に人口が増えている市があると思う。減る局面は間違いないが、一方で増えている市もある。新座市では人口を増やすための努力をしているのか、その辺りの対策について伺いたい。

→ 新座市でもシティプロモーションを掲げ、計画を作って第2期目の計画を進めている。具体的に申し上げますと、子育て世代、30代の方々に移住をしてもらう取組をしている。

また、市内に大学が3つあり、若い方も多いという特徴もある。地元から通う人もいるが、一人暮らしをして大学に通う方もいる。新座市で一人暮らしをしている学生の方たちに市への愛着を持っていただいて、大学卒業後も新座で暮らしていただけるような取組を進めている。

成果を出すのが難しく、数値的にこれだけ増えたとお示しできるものはないが、こうした取組をやっている。流山市は色々取り組んでいて、子育ての取組は先進的な事例である。交通利便性も非常に上がってきているため、立地的にすごく恵まれていると感じている。新座市でも交通利便性の面は非常に大きく、12号線の延伸にも取り組んでいる。なるべく人口減を食い止めるため、若い世代の人に移住してもらう取組を行っているという状況である。

- ・ 新堀と西堀は、新座市の中ではちょっと特殊な位置というか、東久留米市と清瀬市に挟まれているところに位置しているので、どうしても行政の施設が手薄になってしまう地域であるが、清瀬市とか東久留米市と連携して、3市で協力して施設を作ってほしい。清瀬市の児童センターには子供たちとよく行っている。新座市単独でやると少し難しいかもしれないが、

3市で考えればそれなりにいいものができるのではと感じる。お金がかかるものに関しては行政間での連携ができるか分からないが、検討いただきたい。

→ 新座市は、朝霞地区4市という形で、朝霞市、志木市、和光市、新座市の4市がある程度繋がりが強く、その中で公共施設の相互利用を行っている。まだ構想段階ではあるが、4市共有での施設整備も構想している。ご指摘のとおり、西堀・新堀地区は清瀬市や東久留米市に隣接しているが、どうしても東京都と埼玉県の間があり、今まで繋がりがなかった部分ではある。

以前は、西東京市の図書館利用に際して、新座市が運営費用の一部負担を条件に、新座市民も図書館を借りることができるという取組も行ってた。

広域的な施設に関しての利用というのはこれからも考えていかななくてはいけない課題と認識している。非常に大きな課題である。

- ・ 子育て世代の移住者を増やす取組として、具体的に何を取り組んでいるか知りたい。元々東京都内に住んでいた方で、戸建て住宅の購入に当たって土地代が安いことを理由に新座を選んだ方が意外と周りに多くいる。距離的には少ししか変わらないが、県境を越えることで、住宅の価格が下がるという実態があるからである。そういう方たちに新座はここがいいとアピールできる点はあるか。

もう1点、市の公共施設の延床面積の説明がされていたが、複数の施設を1つの施設にまとめた場合、1人当たりが使える避難場所の面積について現在よりも狭くなるのではないか。全員避難した場合を考えているか。大規模災害があった場合、今より逃げられる場所が少なくなり、十分機能するのか不安に感じている。

→ 所管が別なのであまり具体的に申し上げられないが、市では子どもに関する計画を作り、今年度から推進し、子どもを真ん中に、市で支援をしている。具体的な例として、保育所や学童保育室を全員が受け入れられるように整備をしている。現状、保育士が不足して定員まで子どもを受け入れられないという事例もあるので、その解消のために保育士に対して家賃補助などの取組をしている。また、学童保育については、新座市は非常に充実していると自負しており、新しい施設を整備し、定員を増やして1人当たりの面積を確保してきている。

今後、財政状況は厳しいところもあるが、例えば一般的な児童手当に上乗せすることや、給食費を支援するなどの金銭的な支援も含め、具体的な方策を検討し、シティプロモーションとして位置付けた子育て世帯の誘致を促進していきたいと考えている。

防災の拠点だが、非常に重要な議論である。この計画の中でも防災部局とは連携を図りながら検討している。防災を担当する部署からは施設を減らしてもらっては困るとの意見も出ているが、まだ決定ではないので、今後の検討の中で、避難場所の収容可能人数などの防災面での検討を深めていきたい。現状はある程度充足しているが、今後の人口減少と施設全体の延床面積の減少を考えたときに、どのようなことが想定されるかをしっかりと認識し、計画の策定を進めていきたい。

- ・ 防災のお話に関連して、例えば建物を壊し、建て替えているときに災害が起きた場合、私たちはどこに避難すればいいのかを、事前に知らされていなかったでは遅い。今回の計画も事前に知らせるべきだが、これ以上に大きい問題なので、例えば、建て替えている間の避難先はここだと示してほしい。

市から防災備蓄品が町内会に支援されていると思っていたが、町内会活動に携わる中で、防災備蓄品は町内会で準備することになっていることを知った。もし町内会が機能しておらず何の備蓄もなかった場合、その地域に住んでいる人は今日から何も食べ物が無いという話になる。施設を再配置するという機会なので、市がそれぞれの町会やその地域の備蓄状況等を把握し、全員が避難した場合であっても少なくとも水は1本ずつ貰える、といったことを示してほしい。金銭的な援助は嬉しいし大事だが、それよりも色々と設備等が充実している方が生活をするに当たって安心できる。

- ・ 学校の再編の話は10年ぐらい先のことだが、例えば兄弟が多い家庭だと、10年後であっても下の子がまだ小学生といったことも考えられる。再編の際に他の学校に移るのか、事前に新たな入学を制限するといった細かい説明も早めにしてほしい。情報の周知が十分にされず、再編がされるのであれば最初から他の学校に通わせてたのに、ということにならないよう、早くから計画を周知してほしい。

5 閉会

午後4時40分閉会